

今年の春、東飯田（旧木の芽保育園跡地）にある、障がいのある方を対象としたグループホーム「このえ夢ホーム」に続き、「このえ夢ホーム2号館」が同敷地内に2棟目として開設され、3月28日（日）、運営を行う特定社会福祉法人大分県社会福祉事業団主催で落成式が執り行われました。

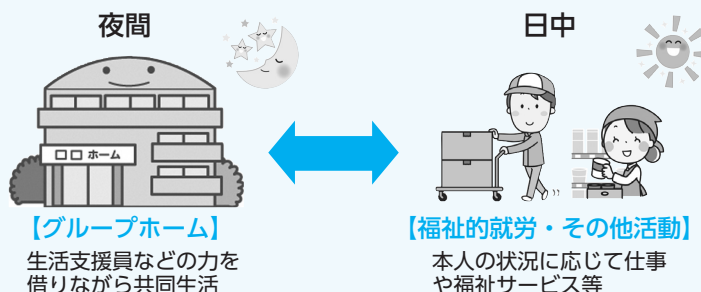
障がいのある方、ご家族の方の今後の生活への不安を軽減し、住み慣れた地域で安心した生活を営むことができるグループホームとして障がいのある方々をサポートします。



グループホームについてのお問い合わせ
特定社会福祉法人 大分県社会福祉事業団
地域生活支援センターはぎの（☎0973-24-2451）

●グループホームって？

障がいのある方が、世話人などの支援を受けながら、地域で少人数での生活する住宅のことを言います。そこを拠点に、障がいのある方の一人ひとりの「できること」を発揮しながら、社会参加を進めるとともに、共同生活することで自身の身体・精神状態の安定なども期待されます。



町長コラム

Vol.16

とびらをあけて

九重町長 日野 康志

今年も、風薫る春の季節があつという間に通り過ぎました。桜もシャクナゲも例年より2週間ほど早く、きれいに咲き誇りました。しかし、昨年同様花見で一杯とはいかず、寂しい季節を過ごされた方も多かったと思います。

感染症や災害復旧などの話題は、これまでも報告して参りましたので、明るい話題を3つほど提供します。

まず1つ目として、4月23日と24日に行われた大分県での聖火リレーでは、18の市町村で無事に聖火を繋ぐことが出来ました。九重町では、観光名所の大吊橋で開催され、観客の人数制限が行われたものの、天候にも恵まれて6人が200mの区間を繋いでくれました。3区では、歌手で九重町に馴染みの深い芹洋子さんが、最終の6区では、オリンピックに3度出場したホッケー女子の石井（旧姓岩尾）幸美さんがランナーとして参加して頂きました。2020東京五輪・パラリンピックが開催さ

れ、平和の祭典に相応しい大会になることを願っています。

2つ目として、九重町出身の落語家であります三遊亭好二郎（本名河野洋平さん）さんの昇進公演が5月2日に九重文化センターで開催されました。九重町では初めての落語家でもありまして、師匠の三遊亭兼好さんや玖珠町出身の三遊亭鳳志さん、三遊亭萬橘さんやマジシャンの伊藤夢葉さんが特別ゲストとして昇進披露公演に花を添えて頂きました。まだ31歳という若さでの昇進ですので、将来が楽しみです。後援会も出来ましたので、九重町の宝として皆さんで応援しましょう。

3つ目として、コロナの影響で2回延期した成人式が、ようやく開催出来ました。85人の成人者のうち40人の方が参加して頂き、参加出来なかった人にはZOOMでの参加を呼びかけました。緊急事態宣言や蔓延防止等重点措置が一部の都道府県で措置されている中で、成人者の皆さんや保護者の皆さんより「成人式を開催してくれてありがたかった」「一生の思い出になる、感謝している」などの言葉を頂き、実施して良かったと思っています。

人生は山あり谷ありと言いますが、良いことも悪い事もあります。感染症では、ワクチンという希望も見えてきました。多少時間は掛かりますが、必ず皆さんが接種できますので、安心して待っていてください。大切なのは、焦らず希望をもって前向きに、我慢強く歩くことだと思います。町民という大切な仲間がいるのですから。